



平成17年12月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

平成 17年 11月 4日

上場会社名 株式会社 長府製作所 (コード番号: 5946 東証第一部)
 (URL <http://www.chofu.co.jp/>)
 代表者 代表取締役社長 川上 康 男 TEL (0832) 48 - 2777
 問合せ先責任者 代表取締役専務 島田 実

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・法人税等の計上については、法定実行税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
 ・引当金その他影響額が僅少な項目につき、一部簡便な方法を採用しております。
 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 17年 12月期第3四半期財務・業績の概況 (平成 17年 1月 1日 ~ 平成 17年 9月 30日)

(1)経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第3四半期	32,177	5.4	2,598	2.1	3,664	6.1	2,004	0.1
16年12月期第3四半期	30,514	4.6	2,655	9.9	3,452	7.6	2,002	0.6
(参考)16年12月期	41,596		3,943		4,927		2,719	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年12月期第3四半期	55.73		-	
16年12月期第3四半期	56.26		-	
(参考)16年12月期	75.51		-	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(売上高の内訳)

	当第3四半期			前第3四半期		(参考)前期	
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
給湯関連機器	17,168	53.3	18.6	14,477	47.5	20,390	49.0
空調関連機器	4,625	14.4	14.8	5,428	17.8	7,013	16.9
システム関連機器	4,706	14.6	6.4	5,030	16.5	6,559	15.8
ソーラー関連機器	1,499	4.7	14.4	1,751	5.7	2,257	5.4
その他	4,178	13.0	9.2	3,826	12.5	5,374	12.9
合計	32,177	100.0	5.4	30,514	100.0	41,596	100.0

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しも見られるなど、景気は緩やかに回復へと向かっております。

このような状況の中、当社におきましては、新規ルート開拓や既存ルートの拡充強化に努め、シェアアップと収益性向上を目指した品揃えの強化を行うなど積極的な営業活動を行ってまいりました。

売上高を分類別に見ますと、給湯関連機器は、業界全体が厳しい状況にある中、石油・ガス給湯器での減少はありましたが、エコキュートの大幅な売上増が寄与し、全体で18.6%の増加となりました。空調関連機器につきましては、新型バーナーを搭載した温風暖房機やミストサウナ付浴室暖房乾燥機などで売上増となりましたが、エアコンでは、海外からの引合が低調でありましたことから全体で14.8%の減少となりました。システム関連機器やソーラー関連機器では、いずれも前年同期の売上を下回りましたが、その他では、附属部品の売上増などにより9.2%の増加となりました。

この結果、第3四半期の売上高は321億77百万円(前年同期比5.4%増)となりました。また、利益面につきましては、売上原価率の上昇により営業利益は25億98百万円(前年同期比2.1%減)となりましたが、金融収益の改善などにより経常利益は36億64百万円(前年同期比6.1%増)となりました。また、四半期純利益につきましても、製品補償費用の計上はありましたが20億4百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産 百万円	株主資本 百万円	株主資本比率 %	1株当たり株主資本 円 銭
17年12月期第3四半期	111,323	101,228	90.9	2,813.73
16年12月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 16年12月期	105,590	98,906	93.7	2,748.42

(注) 財政状態におきましては、当会計年度より四半期財務・業績の開示を行っておりますので、前年同期実績については記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、前会計年度末に比べ57億33百万円増加いたしました。これは主に、有価証券の減少125億86百万円がありましたものの、投資有価証券の増加126億67百万円、現金及び預金の増加19億40百万円があったことなどによるものであります。

3. 17年12月期の業績予想 (平成17年 1月 1日 ~ 平成17年12月31日)

	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円
通 期	44,000	5,400	2,900

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 80円 61銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期は、概ね計画通りに推移しており、現時点では前回公表の通期の業績予想に変更はありません。

* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[添付書類]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

期 別 科 目	当四半期 (平成17年12月期第3四半期末)		(参 考) 平成16年12月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	29,332	26.3	36,990	35.0
現金及び預金	13,119		11,179	
受取手形及び売掛金	4,509		4,576	
有価証券	4,839		17,425	
たな卸資産	4,548		3,484	
その他	2,315		323	
固定資産	81,990	73.7	68,600	65.0
有形固定資産	18,391		17,892	
無形固定資産	94		67	
投資その他の資産	63,504		50,639	
投資有価証券	61,606		48,939	
その他	1,898		1,700	
資産合計	111,323	100.0	105,590	100.0
(負債の部)				
流動負債	7,696	6.9	5,668	5.4
支払手形及び買掛金	2,017		2,024	
その他	5,678		3,643	
固定負債	2,398	2.2	1,015	1.0
退職給付引当金	1,027		387	
繰延税金負債	1,370		627	
負債合計	10,095	9.1	6,683	6.3
(資本の部)				
資本金	7,000	6.3	7,000	6.6
資本剰余金	3,568	3.2	3,568	3.4
利益剰余金	87,610	78.7	86,530	81.9
その他有価証券評価差額金	3,056	2.7	1,813	1.7
自己株式	7	0.0	4	0.0
資本合計	101,228	90.9	98,906	93.7
負債及び資本合計	111,323	100.0	105,590	100.0

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期 (平成17年12月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年12月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 平成16年12月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
				%	
売 上 高	32,177	30,514	1,663	5.4	41,596
売 上 原 価	24,160	22,563	1,597	7.1	30,495
売 上 総 利 益	8,017	7,950	67	0.8	11,101
販売費及び一般管理費	5,418	5,294	124	2.3	7,157
営 業 利 益	2,598	2,655	57	2.1	3,943
営 業 外 収 益	1,373	1,037	336	32.4	1,361
営 業 外 費 用	307	240	67	27.9	377
経 常 利 益	3,664	3,452	212	6.1	4,927
特 別 利 益	330	10	320	-	74
特 別 損 失	726	11	715	-	543
税引前四半期(当期)純利益	3,268	3,452	184	5.3	4,459
法 人 税 等	1,263	1,449	186	12.8	1,739
四半期(当期)純利益	2,004	2,002	2	0.1	2,719